



東 俣 野 7月号

東俣野小学校 学校だより 令和5年6月30日

“ 広がれ！ひがまたっ子挨拶運動 ”

学校長 幸保 陽子

先日は、土曜参観においでくださりありがとうございました。今回は、人数制限を設けずに開催しましたので、多くの方に子どもたちの様子や教育活動の様子を見ていただくことができました。子どもたちは少し緊張している様子でしたが、たくさんの方に見てもらえたことを喜んでいるようでもありました。また、4校時には、大正中学校吹奏楽部の生徒による演奏を聴き、迫力のある演奏に合わせて手拍子したり、一緒に踊ったりして盛り上がり、楽しいひと時を過ごすことができました。終了後、中学生が小学生を温かく見送ってくれる中で、お互いに「ありがとう」と伝え合っている姿がとても印象的でした。

さて、先日、3年生以上のクラス代表とクラブや委員会の長が参加する代表委員会が開かれました。議題は「東俣野小学校がめざす挨拶について考えよう」です。7月からは、縦割り班ごとに挨拶運動に取り組みます。「相手の目を見て気持ちを込めて挨拶すると心が通じると思う。」「恥ずかしがらずに挨拶を進んですることで自分に自信がもてるようになると思う。」「笑顔で挨拶をすると相手も自分も明るい気持ちになれる。」など参加者一人ひとりが、めざす挨拶の姿を一生懸命に考え、意見を交わしました。自分たちで縦割り挨拶運動を盛り上げていこうとする意気込みが感じられ、とても頼もしかったです。今後、縦割り班ごとに朝の挨拶運動に取り組みますが、今回話し合った「めざす挨拶の姿」を入れた振り返りカードを活用して、挨拶運動を盛り上げていくようです。子どもたちが考え、自分たちがリーダーシップをとりながら主体的に活動する姿はとても素敵だと感じました。

挨拶は、人と人とのコミュニケーションにおいて欠かすことができない大切な行為です。出会い、会話、別れ、すべてが挨拶から始まります。そして、挨拶がきちんとできているかどうかは、人間関係が円滑に進むかどうかにも関係しています。挨拶は私たちの日常生活と密接にかかわっており、様々な場で重要な役割を果たしているのです。学校では様々な場面で挨拶をします。「こんにちは」「失礼します」「いただきます」「よろしくお願いします」「ありがとうございます」など、その場に応じて、その意義を考えて取り組んでいけるとよいと考えています。まずは、縦割り班での朝の挨拶運動を通して、挨拶の大切さに気づき、進んで挨拶を行っていこうとする態度を子どもたちに育てていきたいと思えます。

7月には、4、5年生の宿泊体験学習や6年生の修学旅行があります。また、夏休みにはたくさんの人と接する機会が増えるでしょう。子どもたちが多くの人とかかわりながら成長していけるように、私たち大人はその姿を見守るとともに、私たち自身も家庭や社会など様々な場面で進んで挨拶をして、子どもたちの手本となっていきたいものです。